

ヨーロッパにおける自決を考える — カタルーニャの事例を中心に —

日時: 2017年7月19日 (水) 14:00-18:00

場所: 神戸大学大学院国際文化科学研究科 大会議室 (E401)

言語: 英語、日本語 (同時通訳あり)

参加申し込み: 下記のフォームから事前申し込みを受付けています。

<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/Promis/research/lecturers/cn49/20170719.html>

連絡先: gicls-promis@research.kobe-u.ac.jp

(神戸大学国際文化科学研究推進センター)

プログラム:

14:00 開会の辞

西谷 拓哉 教授 (神戸大学大学院国際文化科学研究科副研究科長)

14:15 基調講演: カタルーニャで何が起きているか?

Mr. Albert ROYO (カタルーニャ広報外交評議会: DIPLOCAT)

14:45 ラウンドテーブル: ヨーロッパにおける自決
スコットランドの自決とイギリス政治

カ久 昌幸 教授 (同志社大学)

「国民」形成と「自決」—ウクライナの事例

青島 陽子 准教授 (神戸大学)

民族マイノリティの国際的保護—民族自決の道程

吉川 元 特任教授 (広島市立大学)

カタルーニャの事例—ヨーロッパにおけるボトムアップの動き

Prof. Elisenda PALUZIE (バルセロナ大学)

司会: 坂井 一成 教授 (神戸大学)

15:45 休憩

16:15 ディスカッション

Mr. Albert ROYO, カ久 昌幸 教授, 青島 陽子 准教授
吉川 元特任教授, Prof. Elisenda PALUZIE

司会: 坂井 一成 教授

17:55 閉会の辞

